

100th
Anniversary

2018年4月 三井E&Sホールディングス誕生 次の100年も、海の恵みとともに

船舶で培った技術を生かし、
ディーゼルエンジンの製造から
再エネプラントの設計・建設まで、
「海」を舞台に時代に合わせた新たな価値を
創造し続ける三井造船。
100周年を機に生まれ変わる
同社のこれまでとこれからを紹介する。

培った技術をもとにさらに進歩する 三井造船新たな百年の挑戦

「造船の二文字を外し 過去最大の組織改編」

三井造船は来年、創業以来最大の組織改編を実行する。2018年4月1日付で純粋持ち株会社へ移行。田中孝雄社長は、長年親しんできた「造船の二文字」を社名から外すことも決断した。

洋上風力発電施設を 日本で初めて民間建設

ギョー産業技術総合開発機構の先例はあるが、民間企業が株式会社を現すのは全国初となる。沖合約15km、水深約15mに4基を整備する方針で、一般家庭5千世帯分の電力をまかなえるとい。早ければ、最初のプロジェクトは今年中に各種調査を終え、その後地味な民営や関係機関との協議を進める方針だ。

産官学で世界に挑戦 「チームクロシオ」

AI・V(自律型海中ロボット)を使い、海底地形を高速広域に調査する技術を開発。国際コンペティションが、石油大手シェルのスポンサーで開催中。三井造船と海洋研究開発機構(JAMSTEC)、東京大学生産技術研究所と産官学の有志で結成された「チームクロシオ」は、今から同コンペティションにエントリーしたチームのなかで、唯一技術提案審査を突破し本選へ進出。世界19のライバルチームとの熱い戦いに挑む。水深2千mで16時間以内、最低100平方メートルを調査する。次ラウンドは、今年12月・来年1月に実施の予定。チームではこれを機に、来春10月実施の2次ラウンドへと進むことを最大の目標としている。



着床式洋上風力発電



1次ラウンドに挑むチームクロシオ



今年2月の記者会見から

石油やレアメタル 海底は資源の宝庫

「船、海といえはさかなクンというにもなじみ深いのですが、お二人には共通項が多いです。

新しい技術と発想で 海から世界を変えていく

三井造船が来年、三井E&Sホールディングスへと生まれ変わることを記念して、同社の田中孝雄社長とさかなクンが海の恩恵や無限の可能性を語り合った。

さかなクン

東京海洋大学名誉博士
TBSラジオに毎週月曜「さかなクンのレギュラー」のMCを務める。毎日6時30分〜7時00分、6時30分〜7時00分、おしえてさかなクン。ニマの生息域は、南緯41度から北緯41度まで。



101周年を記念し101匹の「おめでタイ」を描いたさかなクン直筆画とともに

E&Sの可能性を 追いかけて続けたい

造船以外に、現在計画中の新たな事業があれば教えてください。田中 海に発電所を浮かべて、電力不足の島国などに運ぶことはできないかと考えています。発電バジ「静」はしげといいますが、間もなく実用可能な段階になりつつあります。海で仕事をする会社として、少しでも環境を壊さぬようにしなければならぬ責任を痛感しています。マイナスの影響をなるべく減らすためには別の場所での影響を吸収できる技術を今後開発していきたいと思

さかなクン

今、壊さないように」とおっしゃった温かい言葉にとても感激いたしました。人間が環境を「守る」だけでなく、お魚と一緒に地球で生きまわってもらうという立場です。壊さないという気持ちは大事ですね。

田中

Eはエンジニアリング、エネルギー、エンバイロメント、Eはシブシブ、レディン、フラストラクチャーを、いろいろな意味を含め、まとめた。これからは海を舞台として、海の恩恵に感謝しながら様々な事業に挑戦していきたいと思っています。そしてさかなクンに信頼され、褒められる会社でありたいですね。海は将来も物流の主役でしょう。潮流発電などの新しい技術が生れる可能性もあります。一方で減産や「魚」も海の大きな魅力なので、レジャー面での活用も考えた。やりたいことはいっぱいあるんです。

さかなクン

すきょく期待しています。そしてさかなクン「魚もめいて、ただでうれしいですよ。さかなクン。そうですね。考えておきます。田中

田中孝雄

三井造船株式会社代表取締役社長
たなかたかお／1947年東京海上大学工学部機械工学科卒業。三井造船に入社。89年、ディール技術部長。2006年、取締役専任執行役員。常務兼取締役。2013年、代表取締役社長に就任。2017年、代表取締役社長に就任。

さかなクン

最近北海道にシブシブやマンボウがいます。フィリピンもいばいどれるようになって、反対にサケが減っているんです。昔ながらに迷い込んでくるお魚がいっても冬を越せなかったのが、今は水温が上がっているで越冬することもあります。

田中

海は陸地に比べてはるかに広いので、より大きな変化がより早く現れるのかもしれない。深刻な問題だと思います。

海に必要な知恵は 魚が教えてくれる

さかなクン 海からたくさん資源が見つかったら素晴らしいです。そしてできれば、水深1万mのお魚や、たかに会ってみてほしいです。

田中 1万mといえは1000気圧の世界です。ここには私たちの想像を超えるような生き物もいるんですよ。

さかなクン 水圧は壊れないようにすることが多いんです。そのほうが力所。あたりにかかる水の力が小

田中

そうですね。油と天然ガスを用いるいわばハイブリッド技術はもう実現しています。太陽光

田中

海は陸地に比べてはるかに広いので、より大きな変化がより早く現れるのかもしれない。深刻な問題だと思います。

田中

海は陸地に比べてはるかに広いので、より大きな変化がより早く現れるのかもしれない。深刻な問題だと思います。

田中

海は陸地に比べてはるかに広いので、より大きな変化がより早く現れるのかもしれない。深刻な問題だと思います。



巧みな絵の腕前に驚く田中社長

特別寄稿

漫画家 いしいひさいち



三井造船五期には叔父、伯父、叔父、孫兄弟が初孫し、遠い親戚に社長就任までして、叔父は不肖のナントやうでした。伯父は潜水士のくすま製作のベテランで地元メディアに紹介されたこととあります。何重にも心配で、くすまが選挙に間くとってました。うです。

1917〜「日本の近代化への挑戦」

1917

三井物産造船部として誕生
三井物産株式会社造船部として岡山県児島郡日比町(現玉野市)で創設。1924年には、日本初となるディーゼル機関搭載船「赤城山丸」を建造。



1924年 日本初のディーゼル機関搭載船「赤城山丸」

1926

陸上部門への進出
大正から昭和初期、レーヨン工場建設や各種建築、鉄道の製造に携わる。後の化学工業事業や鉄機分野進出の足がかりに。



1922年 大岡電力機山安電所水圧発電現場工事

1937

船舶ディーゼル機関の技術導入
デンマークのB&W社とディーゼル機関の製造販売実施契約を締結。



1938年 三井B&W ディーゼル機関搭載

1942

三井物産からの独立分社
三井造船株式会社に改組。



昭和時代の三井本館

1945〜「総合重工業メーカーへの変革」

1945

三井造船に社名変更
社名を三井造船株式会社に改組。



1952年 五工場

1955

プラント建設分野への進出
三井石油化学工業のプラント建設に携わる。石油化学プラント建設の第一歩。



1958年 三井石油化学工業所建設工事向け No.1 エンジンプラント

1961

鉄構事業の創設
鉄構部門の生産体制を確立。中小橋梁に始まり、日本道路公団などの大型橋梁を受注できるまでに成長。



1976年 奥津大橋

1961

運搬機業界への進出
米バハコ社と技術提携契約締結。国内外に多くの港湾クレーンを納入。



神戸港のトランスレーナー

1961

回転機事業の拡大
遠心圧縮機、往復動圧縮機部門へ進出。技術革新を続け、給油圧縮機や高気圧タービンなども手がける。



1980年代の給油コンプレッサ

1961

省エネ・環境対応技術の強化
省エネ需要の高まりに応え、環境対応・低燃費船舶や、国産の排ガス処理装置などを開発。



環境対応・低燃費型バルクキャリア「neoシリーズ」

2000〜「ビジネスモデルの変革」

2003

三井海洋開発の上場
子会社として初めて三井海洋開発株式会社が東京証券取引所に上場。翌年には市場第一部指定銘柄に。



2004年 三井海洋開発株式一部指定銘柄へ

2016

ライフサイクルソリューションの提供
設計・調達・建設からメンテナンス・アフターサービスまで、製品のライフサイクル全体を担うサービスを提供を開始。



船舶用ディーゼル機関の整備・修理事業に進出

2016〜「次の100年に向けて」

2016

MES Group 2025 Visionの策定
会社の方向性を示す長期ビジョンを策定。自らのあるべき将来像を「社会に価値をつくりだすエンジニアリングチーム」と位置付けた。



MES Group 2025 Vision

2017

創業100周年
三井造船グループは2017年に創業100周年を迎えた。造船から始まった事業は地球規模に広がり、現在のグループ企業は100以上、従業員数は1万3千人超に。



100th Anniversary

2018.4

積み上げた技術と経験を生かし
三井E&Sホールディングスは
新たな百年の歩みを始めます。